

自由民主党 二輪車問題対策PT 座長

自由民主党 オートバイ議員連盟 会長

逢沢一郎先生講演

6月30日に東京都千代田区のグランドアーク半蔵門におきましてオートバイ政治連盟（吉田純一会長）の主催により逢沢一郎先生を講師にお迎えして講演会を開催いたしました。

土日祝日 ETC 搭載車 定率割引（普通車の半分）について

- 今回は土日祝日や100km超えといった前提条件が付帯された
- 我々の最終ゴールは高速道路の料金区分を軽自動車から二輪車を分離し3走行距離や曜日に関係なく普通車の半額にすることである
- 今回は最終ゴールに向かう一つのステップであり、初めて定率割引が実現されたことは第一歩であり、PT や議連は引き続きこの問題に全力で取り組んでいく
- 国交省の審議会においても二輪車を軽自動車に含めている現在の5車種区分が妥当であるのかの議論が緒についた

今回の件についてSNSで大きな反響をいただいている

- 今回の定率割引の件をツイッターやフェイスブックに出すと20万件以上の凄い反応をいただいている
- 応援も多いが、10年前から言っているのに遅いとお叱りもある
- 他にもバイクをめぐる問題について特に駐車場に関する問題が多かった

二輪車の駐車場問題について

- この問題については重く受け止めている。これはユーザーの立場に立てば最も大事な問題である
- マンション等が建築される際には駐車場の義務付けがあるが、おおくの自

治体では四輪車や自転車のみで二輪車は除外されている

- お客さんから「バイク置き場のあるマンションが見つからないのでバイクを手放す」と云う声を販売店を通じて聞いている
- 国交省住宅局にも重く受け止めてもらいたいが、自治体の首長が関心をもつかどうか重要であるので我々としても皆さんと一緒に協調してアピールを行っていく

今後の二輪車市場について

- 災害が発生した時の二輪車の機動性の高さは東日本大震災の時も経験している。そのことを我々は国民にアピールしながら二輪車を大事に育てていきたい
- 新車が 300 万台売れたバイク文化をもう一度パーソナルモビリティという新しい時代の要請を受けて構築したい
- 日本の 4 メーカーは世界では揺るぎないが肝心の国内マーケットでは新車が 50 万台を大きく割り込んでいるので、足元の基盤を固めるために産業政策の面からもしっかり力を入れなくてはならない
- カーボンニュートラルについては内燃機関を含めてどのようなことを念頭に置いて取り組んでいくのかを考えていかななくてはならない
- メーカーの戦略と流通小売りの感覚とはピッチリ一致していないが、皆でハッピーな状況を作り新車 100 万台を安定的に行っていく。そうすることにより良質な中古車の発生も多くなり業界も繁栄していくと云う最終ゴールを描きながら目指していく
- 様々な課題があるが一つづつこなしていき多くの皆さんの期待に応えていきたい

質疑応答

- (Q) 昨年末に取材させていただいた時に、定率割引は 2021 年 4 月を目標と言われていたが 2022 年 4 月になった経緯と走行距離が 100km 超えになった経緯
- (A) 早い方が良いとは思っているが新しい割引に対するシステム改修に手間と費用が掛かるとのことである。現在の料金徴収システムは改修を繰り返した結果、古い土台に屋上屋を繰り返したものになっており効率が悪

いので土台のやり直の提言もある。割引は単に掛け算のみと言ったがシステムを改修し動くようにするには1年の時間が必要であるとの一点張りであった。また100km超えは通勤割引が100km未満であるのでとの主張であったが理屈にはなっていない。減収をおそれていると思うが年間通行料金が2兆3千億円でそのうち二輪車がどの位かもわからないのが現状である。

- (Q) 定率割引の実現までの間の議論で印象に残ったことは
- (A) 特にはないが、条件があったが国交省が普通車の半分に合意したと云う事が大きな成果である

- (Q) 国交省が5区分で良いのかということ聞いたのは最近か。また逢沢先生の認識は
- (A) 昨年暮れにこの情報に接した。現在の料金区分になってすでに30年であり、自動車を巡る環境が変わってきたという状況があるからだと認識している。

オートバイ政治連盟 吉田純一会長

- 逢沢先生は2001年に発足した自民党オートバイ議員連盟のスタートからのメンバーであり故小里貞利先生から2005年に会長を引き継がれて16年、2016年に発足した二輪車問題対策PTの座長として一貫して二輪車問題に対する第一人者として働いて頂いている
- その間、高速道路の二人乗りの実現から、数度に渡る二輪車ETC車載機の購入助成金の実施、普通免許所有者に対する125ccAT免許の教習所での2日間講習の実現、二輪車定額ツーリングプランの実現等様々なことにご尽力を頂いている
- 二輪車の諸問題は政治に向き合っていかなくは何も解決していかない
- 今秋に行われる衆議院議員総選挙に対しては岡山1区の逢沢先生へのご支援をお願いしたい。岡山市内のお知り合いの方、取引先の方にご支援をお願いしたい。合わせて逢沢先生と同じく二輪車業界を良くしていく同氏の先生方にも支援をお願いしたい。

逢沢一郎先生のプロフィール

- 年齢 67歳（1954年生まれ）
- 選挙区 岡山1区（主として岡山市内）
- 当選回数 11回
- 主な役職 自民党選挙制度調査 会長
自民党二輪車問題対策PT 座長 他
- 主な議連 オートバイ議員連盟 会長
自動車整備議員連盟 会長
バス議員連盟 会長 他